

(仮称)水元公園スケートボード広場整備 基本計画(素案) 説明会を開催しました(お知らせ)

令和8年2月 葛飾区教育委員会事務局 生涯スポーツ課

令和7年12月23日(火)午後7時より、水元公園(東金町運動場)周辺地域にお住まいの皆様を対象に「(仮称)水元公園スケートボード広場整備 基本計画(素案)」に関する説明会を開催しました。

当日は、本区より基本計画(概要版)をもとに、整備に向けた基本的な考え方や今後のスケジュール等について説明し、参加した皆様からご意見やご質問を頂きました。

頂いたご意見等を踏まえ、「(仮称)水元公園スケートボード広場整備 基本計画(案)」を取りまとめたため、令和8年2月の教育委員会での本計画の策定を目指しています。

今後は、令和8年4月から基本設計・実施設計に着手することを予定しています。引き続き、近隣住民の皆様からご意見・ご要望を頂く機会を設けながら、本計画に取り組みますので、ご理解・ご協力を願いいたします。

以下、「(仮称)水元公園スケートボード広場整備 基本計画(案)」を一部抜粋してご紹介します。(全編は、葛飾区公式ホームページでご覧ください。)



開催当日の様子(参加者:7名)

■対象地の概況



※国土地理院撮影の空中写真(令和元年撮影)を

加工して作成

名称	水元公園 東金町運動場 多目的広場東側 草地広場
位置	葛飾区東金町8丁目24番
アクセス	東武バスセントラル 「東金町運動場入口」下車徒歩5分
敷地面積	約4,900m ² ※測量調査を実施予定



現況の様子



現況の様子

■基本的な考え方

幅広い利用者層に対応するとともに、利用者が創造性を発揮できる自由度の高い施設の実現を目指し、整備に向けた基本的な考え方を整理します。

①年齢や経験等を問わず幅広い利用者層に対応した施設

- 計画地の広い面積を活かして、初級から上級まで全てのレベルに対応した滑走エリアを設け、年齢・経験を問わない、幅広い利用者層が楽しめる施設とします。
- フラットな滑走面と多種多様なセクションを配置し、利用者の創造性が発揮される自由度の高い滑走が楽しめる先進的な施設とします。
- スケートボードを中心に、インラインスケートやBMX等、様々な競技種目での利用も可能とし、幅広い需要に対応できる施設とします。

③安全・安心な環境の構築

- 管理スタッフの配置や安全柵の設置など、他の公園利用者に配慮した、安全・安心な利用環境を維持します。
- 定期的なマナー啓発、競技に関する指導・助言及び講習会等を行います。
- スケートボードやインラインスケート、BMXといった各種目の利用者が安全に取り組める利用方法やルールを定めます。
- 滑走音や照明等が、周辺住民や公園の自然環境に与える影響を可能な限り低減させるための方策を、設計で検討します。

②次世代の育成とスケートボード文化の振興

- 初心者向けにスケートボードやヘルメット、プロテクター等のレンタルを実施し、競技に触れるきっかけを創出する施設とします。
- 区民が参加できる大会やプロ選手のパフォーマンスを楽しめるイベント等が実施できる施設とします。また、SNSを用いてこれらの情報を発信します。
- 葛飾区ならではの街並みや河川をコースやセクションで表現し、本区の街中を滑走するようなイメージで設計します。また、音響設備を配備し、音楽(BGM)の効果的な活用により「ストリートスポーツ」としての雰囲気を表現します。これにより、「スポーツ」と「文化・芸術」の両面を通じてスケートボードの魅力や楽しさを発信します。

④大規模災害時の対応

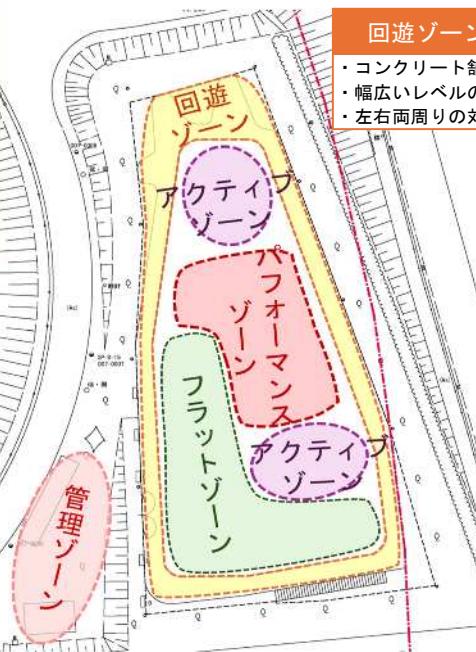
- 水元公園が「大規模救助活動拠点」であることを踏まえ、発災時には関係機関と連携し、災害対応スペースとして効果的に活用します。

■整備計画

全体

- 葛飾区ならではの街並みや河川をコースやセクションで表現するとともに、音楽（BGM）の効果的な活用により「ストリートスポーツ」としての雰囲気を表現し、文化的側面を通じた魅力発信
- 安全性の確保
- 植栽やシェードを用いた日よけスペースにベンチ等が設置された滞留空間を配置





回遊ゾーン

- コンクリート舗装の平坦な周回コース
- 幅広いレベルの使用を想定
- 左右両周りの対面滑走が可能なゆとりあるコース幅を確保

アクティブゾーン

- 多種多様なセクションを設置し、幅広いレベルの利用者が競技に親しめるエリア
- パフォーマンスゾーンと一体性を有し、相互に連携した創造的な滑走が可能
- セクション内に滞留空間を配置し、利用者同士の交流機会を創出



管理ゾーン(トイレを含む)

- 受付（利用・道具レンタルなど）、安全管理、マナーアップ活動等の実施
- 整備計画地の利便性の向上を図るためにトイレ新設（スケートボード以外の公園利用者も利用可能）



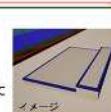
パフォーマンスゾーン

- アクティブゾーンとの一体的な利用により連続した滑走が可能
- 大会や、プロスケーター等によるパフォーマンスが楽しめるイベントの開催エリア



フラットゾーン

- コンクリート舗装の平坦な路面
- 基礎的な練習から創造性を活かした滑走まで幅広く対応



滑走エリア	全体	約 2,670 m ²																				
管理施設	管理事務所 倉庫	約 50 m ²	安全管理、利用受付、備品収納等																			
安全対策	フェンス	高さ 3m／延長約 200m																				
出入口	高さ 3m 両開き門扉																					
照明	JIS（日本産業規格）照明基準に準じた 150lx 以上の照度を確保																					
その他	トイレ	約 30 m ²	男性用 1 か所、女性用 1 か所 バリアフリートイレ 1 室																			
駐輪スペース	約 70 m ² (約 35 台分)																					
運営時間（想定）	平日・休日	午前 9 時～午後 9 時 (最終受付 午後 8 時 15 分)																				

■想定スケジュール

	令和 8 年度					令和 9 年度					令和 10 年度														
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
基本設計・実施設計																									
関連法に基づく許可申請等手続き																									
施工（破線部は入札等の準備期間）																									
開設準備*																									

※開設準備完了後、令和 10 年度中に供用開始

■説明会でいただいたご意見・ご質問（抜粋）

ご質問・ご意見	回答
スケートボード広場以外の場所での滑走による騒音の発生が懸念されます。近隣住民への配慮に関する方針をお聞かせください。	競技経験のある管理者を配置し、施設の利用ルールの周知を徹底するとともに、施設外でのマナーに関する指導・助言を行い、公園利用者や近隣住民が安全・安心できる環境を維持します。
大会開催時やプロ選手によるパフォーマンスが行われる際に、観客席を設置する予定はありますか。	「フラットゾーン」という平坦なエリアに、仮設の観覧席を設置する予定です。
敷地面積の約 4,900 m ² に対して、滑走エリア面積が約 2,670 m ² を予定していますが、広く整備することはできませんか。	敷地内の既存の桜の木は、残置を予定しています。これを踏まえ、整備可能な滑走エリアの範囲を検討した結果、約 2,670 m ² としました。